

# 20周年記念講演録出版計画

アメリカがん協会助成金プロジェクト報告

2007. 12. 9 ACSワークショップ

アイデアフォー 中澤幾子

# アメリカがん協会助成金

□2007年5月30日

1,500米ドル→180,010円

□2007年10月1日

1,500米ドル→170,040円

合計3,000米ドル→350,050円

# 設立20周年記念行事計画

## ➤ 講演録発行

10周年記念『乳がん治療・日本の医療 アイデアフォー講演録』(1999年発行)以降の講演録出版(1999年～2007年分)

## ➤ 講演会

例年より時間をとり、会員の満足度を高める  
テーマを原点の「乳がん」にしぼり、今まで、そしてこれからの乳がん治療についての講演、ディスカッション等

## ➤ 20周年記念パーティー

お世話になった方々をご招待し、アイデアフォーの20年を振り返る、等

## ➤ 20周年記念ミニ講演会いろいろ

「臨床試験」「再発」等これまでに取り上げてきたテーマを続けていく

## ➤ 「20年のあゆみ」作成

活動を振り返り、記録として会員へ配布する

「10年のあゆみ」以降にするか、それも含めるかは未定だが、会報誌『アイデアフォー通信』の付録とする予定

# 講演録の位置付け

- 1) 広く世の中に情報として発信する
- 2) 活動の記録として会員の手元に届ける
- 3) 活動の思い出として作ることに意義がある



# 出版社の見積

## ● 全国の書店に流通した場合

書店流通1000部、著者献本1100部、営業見本50部

印刷製本費— 860,000円

編集制作費—1,510,000円

合計・消費税込 2,488,500円

## ● 書店流通しない場合

刷り部数・献本とも2000部

印刷製本費— 860,000円

編集制作費— 780,000円

合計・消費税込 1,722,000円

# 世話人の意見

- ✓ 情報として新しいとはいえない。
- ✓ 誰が読みたいかな、お金出してまで。
- ✓ 誰が買う？
- ✓ 活動の記録としては絶対必要。
- ✓ 10周年で出したのだから、20周年も出すべき。
- ✓ 会員は欲しい、と思う。
- ✓ 今でも役に立つ情報もあるし、すべてが古いわけではないのだから、出版する意義はある。
- ✓ 思い出かしら。
- ✓ 私はほしい！

# というわけで、結論

- ◆ 自費出版として発行
- ◆ 書店流通はせず、アイデアフォー直接の通信販売とする
- ◆ 会員、およびメディアへは無料で配布
- ◆ 講演会、セミナーなどの開催時に販売
- ◆ 本のサイズは四六判(普通の単行本)とする



# 掲載予定講演録

- 「臨床試験はだれのため」(1998年9月)  
津谷喜一郎氏・別府宏圀氏・油井香代子氏
- 「抗がん剤に未来はあるか」(1999年3月)  
福島雅典氏・近藤誠氏
- 「がんの遺伝子診断の現状と問題点」(1999年10月)  
迫田朋子氏
- 「がんの痛みはどこまで取れる？」(2000年10月)  
小笠原一夫氏

- 「科学的根拠に基づいた乳がん治療—後悔しない治療法を選ぶために—」  
「乳房再建」(2001年10月) 南雲吉則氏
- 「放射線三次元照射による最新の乳がん治療—一切らずに治す放射線主体の治療法—」(2002年10月)  
植松稔氏
- 「非浸潤がんの診断と治療」  
「ホルモン療法・化学療法・臨床試験」(2003年3月)  
中村清吾氏
- 「最新の乳がん補助療法—海外の治療情報・日本の現在(いま)—」(2003年11月) 岩瀬哲氏
- 「くじ引き試験のデータの解釈について」(2003年11月)  
近藤誠氏

- 「乳がん再発者からのメッセージ」(2004年4月)  
『再発後を生きる』(アイデアフォー編)執筆者の方々
- 「乳がん・再発治療の選択—腫瘍内科医が語る再発乳がんとのつきあい方—」(2004年10月)  
佐々木康綱氏
- 「乳がん再発者からのメッセージ その2」  
(2005年6月) 『再発後を生きる』執筆者の方々
- 「もっと知りたい緩和ケア—最後まで自分らしく生きるために—」(2005年10月) 木下寛也氏
- 「どうなる? がん治療薬—未承認薬使用問題を考える」(2006年6月) 北澤京子氏

- 「乳がん薬物療法との付き合い方—腫瘍内科医と考える、最適な治療の選択—」(2006年10月)

高野利実氏

- 「がん治療薬の適正使用を考える」(2007年3月)

浜六郎氏

- 「がんと心のケア—サイコオンコロジー(精神腫瘍学)—」(2007年10月) 内富庸介氏

# 現時点の状況、今後の予定は

- 講演者・パネリストの掲載許可依頼中  
（全て『アイデアフォー通信』には掲載済み）
- 出版社と契約、編集者と打ち合わせ
- 2008年3月末発行予定
- 会員以外の送付先リスト作成
- 講演録販売のための郵便局の口座開設（担当者を決める）
- チラシ作成